

Hitachi Solutions Create

HITACHI

「快作レポート+」機能紹介
株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

第1章 クライアント機能

- 1-1. 基本入力機能
- 1-2. カメラ機能
- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能
- 1-7. 基本入力を利用した機能
- 1-8. データ操作機能
- 1-9. その他機能
- 1-10. 補助機能

第2章 サーバ機能

- 2-1. 報告書閲覧
- 2-2. 報告書検索
- 2-3. ユーザ管理
- 2-4. 報告書フォーマット管理
- 2-5. 予定管理
- 2-6. 報告書フォーマット配信設定
- 2-7. 報告書メール送信
- 2-8. 承認設定
- 2-9. 指示作成機能
- 2-10. 写真一覧表示

第3章 外部システム連携機能

- 3-1. 外部システム連携機能

第1章 クライアント機能

機能	機能説明
1-1. 基本入力機能	
① 文字入力(半角数字以外)	テキストボックスへの値入力ができます。 キーボード入力だけでなく発話による音声入力ができ入力の手間を削減できます。
② 文字入力(半角数字)	数字専用キーボードや数字スライダーによる数字入力ができ、 全角や英字からのキーボード切り替えが不要となります。
③ 単一選択/複数選択	ラジオボタンやチェックボックスによる値選択を行います。 ワンタップで値を選択することができ、手入力の手間を削減できます。 選択値を設けておくことで誤入力を防ぐことができます。
④ 選択入力部品	プルダウンリストから値を選択でき、定型文言を容易に入力できます。 リストの階層絞り込み選択が可能で、目的の値を入力しやすくなります。
⑤ 日付/時刻入力	カレンダーイメージを確認しながら日付の入力ができます。 キーボード入力の手間を無くしてドラムロールのスイープによる 日付/時刻の入力ができます。
⑥ 日付/時刻入力(時刻の引き算)	開始から終了までの時間を自動計算して時刻差分の入力工数を削減できます。
⑦ 音声操作	発話により入力欄のフォーカス移動と音声入力ができ、手入力の手間を削減できます。
1-2. カメラ機能	
① 静止画撮影	タブレット等のカメラを利用した、静止画撮影ができます。
② 画質設定	静止画撮影設定時に画質の設定ができます。
1-3. 手書き入力機能	
① 写真への手書き	撮影した写真、選択した画像に手書き入力ができます。
② 白紙(サイン)	白紙に手書き入力ができます。
③ セル上画像	セル上画像への手書きができます。
④ 利用できる部品・属性	手書き入力機能にて利用できる部品は、手書き入力のほかテキスト入力、 さまざまな図形を配置等が可能です。

機能	機能説明
1-4. 値自動取得機能	
①GPS/現在日時取得	位置情報(緯度, 経度)を取得して作業場所(位置)を記録できます。 日時取得ボタンワンタップで現在日時を反映でき入力の手間を削減できます。
②報告書情報表示	報告書作成/報告書承認の日時、ユーザ名、ユーザ印影画像を自動入力でき、 入力の手間の削減、ペーパーレス化に貢献できます。
③マスタ検索	サーバからマスタ情報を取得して報告書に自動入力できます。
④QRコード/バーコード読み取り	QRコードまたはバーコードで読み取った情報を報告書に自動入力できます。 カメラを起動して読み取るため、手入力の手間を削減できます。
⑤QRコード報告書自動展開	QRコードを読み取った値に従って複数の入力欄に値を自動反映することができ、 手入力の工数削減を実現します。
1-5. マスタ機能	
①報告書データマスタ	マスタの絞り込み検索結果を報告書画面に自動反映します。
②報告書データマスタの 反映先指定	各マスタ検索ボタン毎にマスタ値の反映先を指定することができます。
③選択入力候補マスタ (プルダウンマスタ)	プルダウンマスタをプルダウン表示することができます。
1-6. 値比較機能	
①前回値取得	過去の報告書から入力データを取得することができます。 過去の値と今回の値を比較しながら報告書作成が可能となります。
②閾値と閾値比較	入力可能文字の制限設定が可能で誤入力防止を実現できます。 数値に対しては上下限値を設定でき、想定外の値入力時にはアラートで気づきを与えてくれます。

機能	機能説明
1-7. 基本入力を利用した機能	
①例外入力機能	「その他」といった例外値が入力された場合、「その他」入力欄を強制的に入力させる機能です。 例外内容を必ず入力させたい場合に活用できる機能です。
②選択肢絞込機能	二つの選択入力を使用し、一つ目の入力値に従って二つ目選択肢を絞り込みます。 二つ目の選択肢が常に絞り込まれた状態で表示されるため、入力が容易です。
③条件付き必須機能	特定の値が入力された場合、他の項目を入力必須に変更させます。 問題有を示す値が入力された時に写真撮影を必須にする場面にも活用できます。
1-8. データ送信部品	
①送信済み報告書検索	報告書作成画面からサーバに登録されている過去の報告書をスムーズに検索、閲覧することができます。
②一時保存データ管理	作成途中の報告書をアプリ内に一時保存できます。 電波の届かない場所で作成した報告書を一時保存しておき、電波の届く場所にきた時に保存データ呼び出してサーバへ送信することができます。
1-9. その他機能	
①承認者選択	報告書承認者を指定できる機能で、承認ワークフローを実現できます。
②Excel関数	29のExcel関数に対応しており、入力値に応じた計算結果を自動で表示できます。
③文書参照	報告書作成時に報告書に関係のあるマニュアルや資料をオフラインまたはオンラインで閲覧できるため、資料を探す手間を削減できます。 オフラインの利点：電波の届かない場所でも閲覧できます オンラインの利点：最新の資料を閲覧できます
④印刷用ページ表示	報告書画面を印刷用のページレイアウトで表示させ、モバイルプリンタによる外出先でのお客さま控えなどの印刷が可能となります。

機能	機能説明
1-10. 補助機能	
補助機能	報告書フォーマットを作成する場合に役立つ部品です。 データの管理や非表示にしたい部分がある場合などに利用可能です。

第2章 サーバ機能

機能	機能説明
2-1. サーバ機能	
①報告書閲覧	報告書の管理と報告データをPDF,CSV,Excelとしてダウンロードできます。
②報告書検索	検索項目を入力し、目的の報告書を容易に検索することができます。 検索条件をお気に入り登録することで、よく使う検索をスムーズに行えます。
③ユーザ管理	ユーザをグループ階層で管理でき、組織構成を意識したユーザ管理が行えます。
④報告書フォーマット管理	フォーマットをフォルダで管理でき、関連フォーマットでの分類管理が可能です。 フォーマットの版管理もでき、旧フォーマットで作成した報告書管理も可能です。
⑤予定管理	ユーザごとに報告業務の予定を管理でき、カレンダーで予定の確認ができます。
⑥報告書フォーマット配信設定	報告書フォーマットの配信設定ができ、ユーザごとに作成させる報告書を制御することが可能です。
⑦報告書メール送信	社内だけでなく、社外の関係者にもメールで報告書を送信できます。
⑧承認設定	報告書の承認ができます。
⑨指示作成機能	作成してほしい報告書フォーマットを報告者へ「指示」として送信できる機能です。
⑩写真一覧表示	報告書に添付した写真を抽出してアルバムのように一覧表示できます。

第 3 章 外部システム連携機能

機能		機能説明
3-1. 外部システム連携機能		
	①データ連携ツール	報告書日次データをPDF,CSV,Excelとして自動でダウンロードできます。
	②Web API	外部システムから快作レポート+ 各種機能呼び出してリアルタイムなデータ連携を実現します。

第 1 章 クライアント機能

1-1. 基本入力機能

- ①文字入力(半角数字以外)
- ②文字入力(半角数字)
- ③単一選択/複数選択
- ④選択入力
- ⑤日付/時刻入力
- ⑥日付/時刻入力(時刻の引き算)
- ⑦音声操作

1-2. カメラ機能

- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能
- 1-7. 基本入力を利用した機能
- 1-8. データ操作機能
- 1-9. その他機能
- 1-10. 補助機能

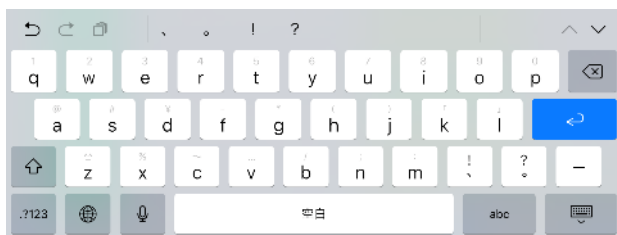
1-1. 基本入力機能 ①文字入力(半角数字以外)

HITACHI

入力欄をタップすることでキーボード入力または音声入力が可能です

【キーボード入力】

快作レポート +



【音声入力】



マイクボタン押下で
音声入力開始

※併用してキーボード入力も可能です

[補足]

- ・入力欄を押下時、モバイル標準キーボードが表示されます
- ※全角/半角入力キーボードの切り替えが可能です

[設定可能範囲]

- ・音声入力の利用有無を設定可能です
 - ・閾値を設定可能です
- ※数字(半角)上下限,記号(半角),英文字(大文字,小文字)の閾値設定ができます

[注意事項]

音声入力

- ・サーバ導入版のみ使用可能です
- ・利用するには音声ライセンスの購入が必要となります
- ・オンライン時のみ利用可能です

[その他設定可能項目]

- ・入力必須
- ・入力欄縦幅
- ・入力欄横幅
- ・入力可能文字数
- ・Excel帳票表示箇所
- ・前回値表示
- ・コピー可否

1-1. 基本入力機能 ②文字入力(半角数字)

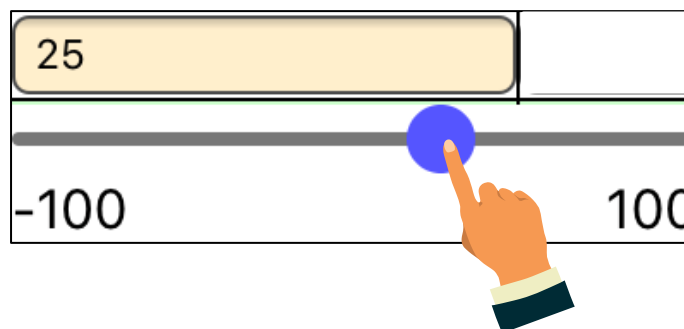
HITACHI

半角数字またはマイナスと小数点のみ入力可能とする機能です
数字専用キーボードまたは数字スライダーによる入力も利用可能です

【数字専用キーボード】



【数字スライダー】



※ 青い丸(つまみ)を左右にスライドすることで数値を変えることができます
数字専用キーボードと数字スライダーは入力欄の真下に表示されます

[補足]

- ・半角数字,半角マイナス(-),小数点以外は入力できません
 - ・入力欄を押下時、モバイル標準キーボード(数字)が表示されます
- ※ 全角/半角キーボードの切り替えが可能です

[設定可能範囲]

- ・数字専用キーボードが利用可能です
 - ・数字スライダー入力が可能です
- ※ 数字スライダー入力とモバイル標準キーボード入力の併用が可能です
- ・閾値の設定が可能です
- ※ 数値の上下限值を設定でき、エラーまたは警告を出力する機能です
- ・閾値比較の設定が可能です
- ※ 任意の値との差を比較し、エラーまたは警告を出力する機能です

[その他設定可能項目]

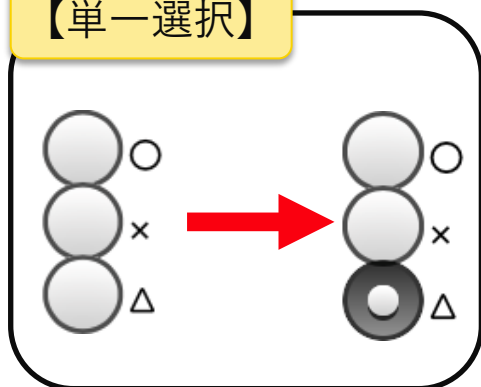
- ・入力必須
- ・入力欄縦幅
- ・入力欄横幅
- ・入力可能文字数
- ・Excel帳票表示箇所
- ・前回値表示
- ・コピー可否

1-1. 基本入力機能 ③単一選択/複数選択

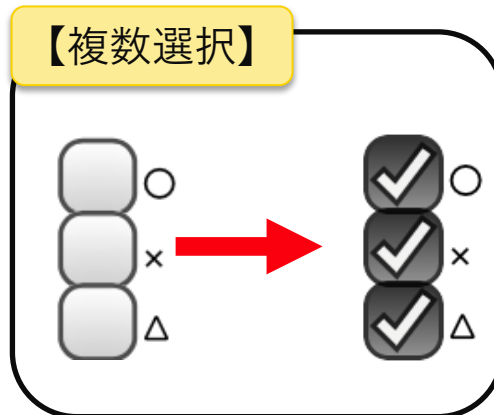
HITACHI

単一選択（ラジオボタン）：選択肢の中から一つ選択可能です
複数選択（チェックボックス）：選択肢の中から複数選択可能です

【単一選択】



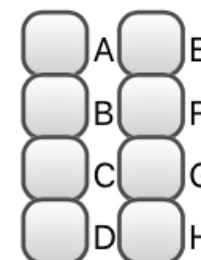
【複数選択】



【横方向表示】



【折り返し】



[補足]

- ・選択肢は横方向に折り返しなしの状態が表示されます
- ・サーバへ送信後の報告書画面で確認する際は、選択肢が全て表示された状態で選択値が表示されます

[設定可能範囲]

- ・表示方向(縦,横)を設定可能です
- ・表示方法(全表示,選択表示)を設定可能です

※送信後の報告書画面で、選択肢と選択値全てを表示する、または選択値のみ表示するかを選択できます

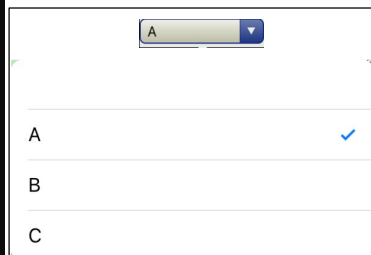
- ・折返し箇所を設定可能です

※折返し箇所を設定することで任意の場所で選択肢を折返すことが可能です

1-1. 基本入力機能 ④選択入力

複数の選択枝の中から一つをプルダウンで選択できます

【選択入力】



※選択枝の表示位置
画面上部：入力欄の下
画面下部：入力欄の上

【階層選択】



[補足]

- ・初期値として空欄が設定されています
- ・デフォルトでは1階層選択です
- ・端末によってプルダウンで表示されるかドラムロールで表示されるかが異なります

[設定可能範囲]

- ・初期値(空欄, 一番初めの選択値)を設定可能です
- ・階層選択(選択値表示, 全階層表示)を設定可能です
- ※選択値表示は最後の階層で選択された値のみを表示します
- ※全階層表示は入力欄を3つ表示し、各階層ごとの選択値を入力欄に反映します
- ・階層選択を利用時、階層選択値連結が可能です（各階層の値を連結して表示します）

例) 東京都 > 品川区 > 東品川 ⇒ 東京都品川区東品川

1-1. 基本入力機能 ⑤日付/時刻入力

HITACHI

日付/時刻入力：日付/時刻をカレンダー型またはドラムロール型で入力できます

【日付入力】

2021 年 3 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

今日 選択解除 閉じる

2021/03/15

年	月	日
2020	02	14
2021	03	15
2022	04	16

OK Clear Cancel

【時刻入力】

09:25

時	分
08	24
09	25
10	26

OK Clear Cancel

※日付入力(カレンダー型)：選択している日付は白色、現在の日付は黄色になります

[補足]

- ・初期表示時刻は現在日時が入力されています
- ・デフォルトの入力形式は[ブラウザ画面：カレンダー型][モバイル画面：ドラムロール型]です
- ・日付の入力可能範囲は[カレンダー型：-1年<現在日<+1年][ドラムロール型：-100年<現在日<+1年]です

[設定可能範囲]

- ・モバイル画面のみ入力形式(カレンダー型[日付のみ],ドラムロール型[日付/時刻])を設定可能です
 - ・日付：未来日(年単位)を設定可能です
- ※入力可能な日付を現在日から1年後～100年後まで設定可能です
- ・時刻：初期表示時刻(現在日時もしくは00:00)が設定可能です

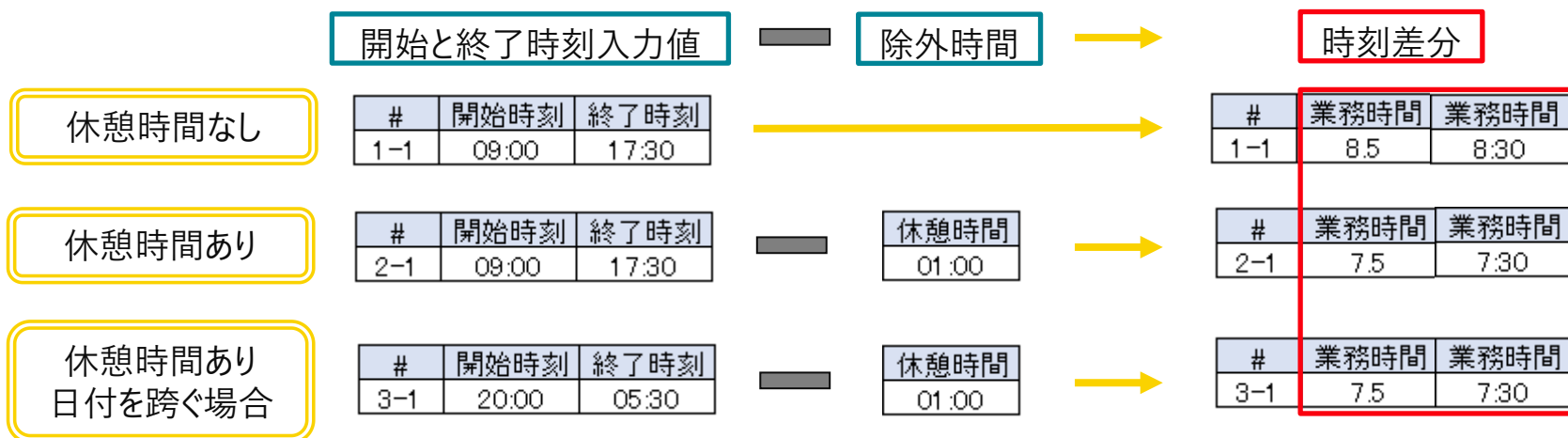
[その他機能]

時刻入力部品を利用することで時刻差分を容易に求めることができます

1-1. 基本入力機能 ⑥日付/時刻入力(時刻の引き算)

HITACHI

時刻入力部品を利用して時刻差分を表示できます
時刻差分の算出方法：(終了時刻 - 開始時刻) - 除外時間 = 時刻差分(数値/時刻)



[補足]

- ・時刻差分は数値形式で表示されます
 - ・時刻差分に必要な値は開始時刻、終了時刻です（必要であれば除外時間を設定可能です）
 - ・終了時刻が開始時刻よりも早い場合、日付を跨いだものとして時刻差分が算出されます
- ※日付を跨いだ計算が可能なのは一日だけです（二日後、三日後の時刻差分は不可となります）

[設定可能範囲]

- ・時刻差分は表示形式(数値形式,時刻形式)を選択可能です
- ・除外時間の有無を設定可能です
- ・開始時刻、終了時刻、除外時間には時刻入力部品を設定する必要があります

1-1. 基本入力機能 ⑦音声操作部品

HITACHI

音声入力によってカーソルの移動と音声入力が可能です

音声操作開始

“項目名：名前”に値を入力したい場合
「名前」
上記のように発話すると
カーソル移動が可能です

項目名：名前にフォーカス移動

項目名: 名前	
項目名: 都道府県	
項目名: 住所	
項目名: 連絡先	

値を入力したい場合
「日立太郎」
上記のように発話すると
値の音声入力が可能です

項目名：名前に値を入力

項目名: 名前	日立太郎
項目名: 都道府県	
項目名: 住所	
項目名: 連絡先	

項目から次の項目へ
カーソルを移動する場合
「項目名 住所」
上記のように発話すると
カーソル移動が可能です

項目名：住所にフォーカス移動

項目名: 名前	日立太郎
項目名: 都道府県	
項目名: 住所	
項目名: 連絡先	

[補足]

- ・音声操作ボタンを押下直後は「項目名」と発話する必要はありません
- ※初回以外で他の項目に移動する場合は「項目名」を発話する必要があります
- ・値の入力は画面に表示されている音声入力終了ボタンを押下することによって終了できます
- ※他の項目を指定することでも終了することが可能です

[注意事項]

- ・サーバ導入版のみ使用可能です
- ・利用するには音声ライセンスが必要となります
- ・オンライン時のみ利用可能です

- 1-1. 基本入力機能
- 1-2. カメラ機能**
- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能
- 1-7. 基本入力を利用した機能
- 1-8. データ操作機能
- 1-9. その他機能
- 1-10. 補助機能

1-2. カメラ機能

HITACHI

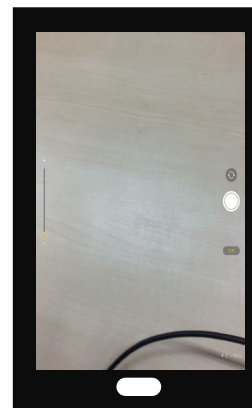
タブレット等のカメラを利用した、静止画撮影ができます

- ・写真撮影部品：快作レポート+アプリ上で静止画を撮影します
 - ・画像選択部品：端末標準カメラアプリ等で撮影済の写真や画像を取得することができます
- ※上記、2つの機能の併用も可能です(写真撮影部品属性の「画像選択利用」有無で設定可能)

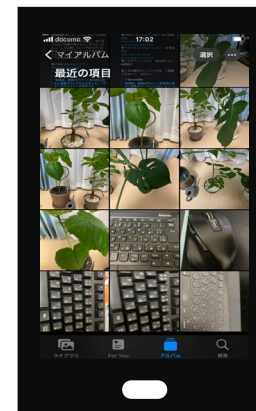
劣化状況詳細	
水道	
ガス(ボンベ)	
ガス(配管)	
電気	

点検結果画像1	
静止画撮影 削	

静止画撮影



画像選択



or

機能の併用可能

[補足]

- ・静止画撮影、画像選択ともに手書き入力の利用有無が設定可能です
- ・撮影日時を特定の箇所に表示させることも可能です
- ・スタンプとして印影または任意のスタンプを登録可能です
- ・画質とプレビュー倍率が設定可能です
- ・サーバに送信したら写真が端末アプリ内から消える仕様となります

1-2. カメラ機能 ②画質設定

HITACHI

静止画撮影設定時に画質の設定ができます

①超高画質(未設定時は超高画質) ②高画質 ③低画質

480×640ドットの場合の各画質サンプル(iPadで検証)

超高画質
(※約116KB)



高画質
(※約84KB)



低画質
(※約40KB)



1-1. 基本入力機能

1-2. カメラ機能

1-3. 手書き入力機能

①写真への手書き

②白紙(サイン)やセル上画像

③利用できる部品・属性

1-4. 値自動取得機能

1-5. マスタ機能

1-6. 値比較機能

1-7. 基本入力を利用した機能

1-8. データ操作機能

1-9. その他機能

1-10. 補助機能

1-3. 手書き入力機能 ①写真への手書き

HITACHI

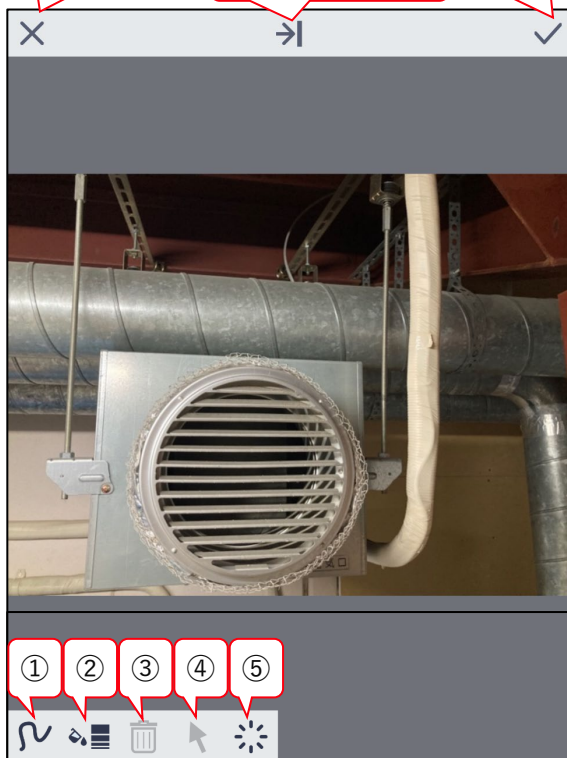
撮影した写真、選択した画像に手書き入力ができます

手書き入力

手書き中止

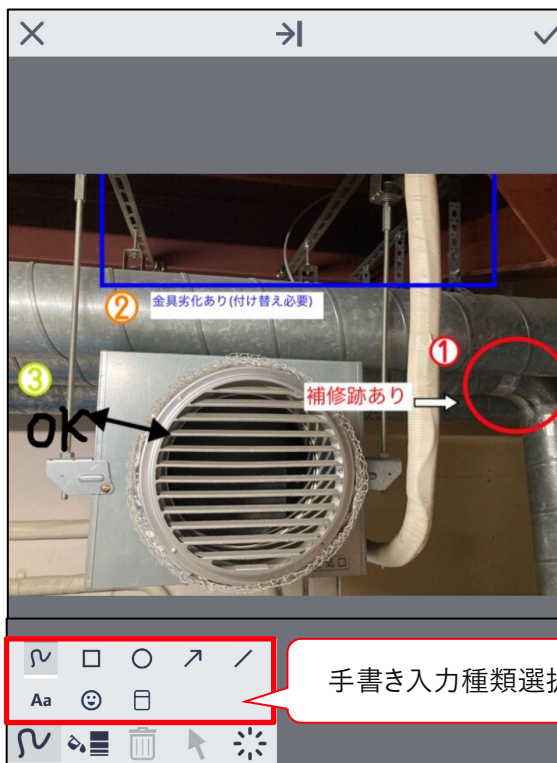
画像以外非表示

手書き保存



- ①：手書き入力種類選択
- ②：各手書き入力種類の設定変更
- ③：削除
- ④：選択
- ⑤：オールクリア

手書き入力後例



手書き入力種類選択画面

1-3. 手書き入力機能 ②白紙(サイン)

白紙に手書き入力ができます

手書きサイン



横1280ドット：縦280ドット設定時

デフォルトサイズの場合
(横640ドット：縦480ドット)

[補足]

・サイン欄の大きさに合わせてサイズ指定できます

※指定がない場合、横サイズは640、縦サイズは480となります

セルの大きさに合わせてサイン欄の横サイズと縦サイズを指定してください。

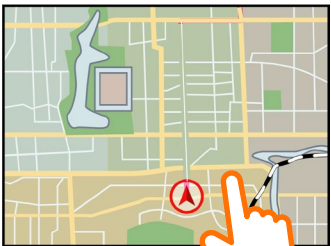
1-3. 手書き入力機能 ③セル上画像

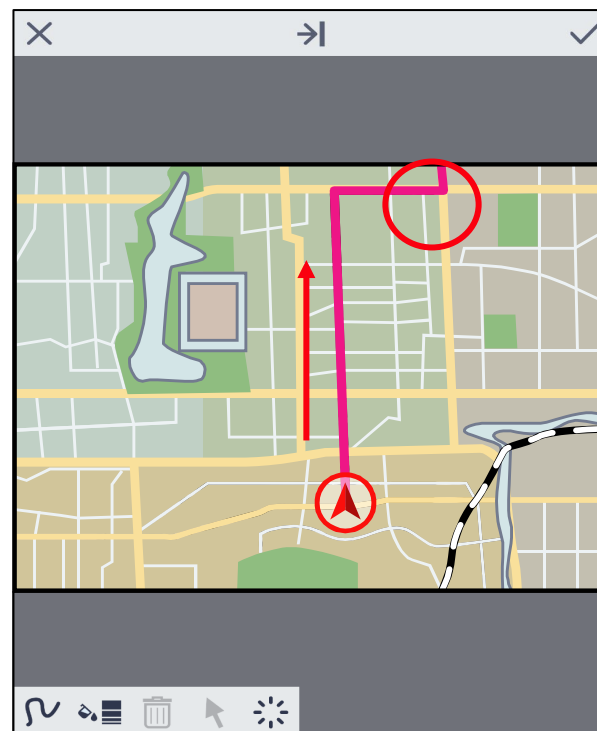
HITACHI

セル上画像への手書きができます

セル上画像の手書き

劣化状況詳細		
水道		
ガス(ポンプ)		
ガス(配管)		
電気		

現場地図	
	



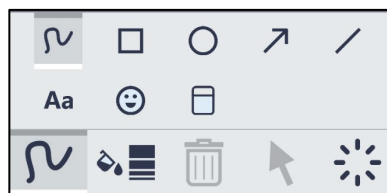
[補足]

- ・貼り付け可能な拡張子は「jpeg」となります
- ・画質の指定ができます【超高画質】【高画質】【低画質】
- ※指定がない場合、超高画質となります

1-3. 手書き入力機能 ④利用できる部品・属性

手書き入力機能にて利用できる部品は、手書き入力のほかテキスト入力、
さまざまな図形を配置等が可能です
また、ユーザ毎に設定ができるスタンプなども配置が可能です

手書き入力種類選択



各手書き入力種類の設定変更

手書き入力



テキスト入力



スタンプ



[手書き入力種類選択]

- ①手書き入力
- ②図形(四角形)
- ③図形(丸)
- ④図形(矢印)
- ⑤図形(直線)
- ⑥テキスト入力
- ⑦スタンプ
- ⑧消しゴム

上記から選択でき、色や太さなどが変更可能です

[補足]

- ・写真撮影、画像選択ともに手書き入力は利用なしの設定です
- ・手書き入力を一度保存しても上書き保存が可能です
- ・写真撮影、画像選択ともに手書き入力の利用有無が設定可能です
- ・写真撮影では撮影日時のExcelでの表示箇所が設定可能です
- ・写真撮影、画像選択の利用有無を設定可能です
- ・スタンプとして印影または任意のスタンプを登録可能です
- ・画質とプレビュー倍率が設定可能です

1-1. 基本入力機能

1-2. カメラ機能

1-3. 手書き入力機能

1-4. 値自動取得機能

①GPS/現在日時取得

②報告書情報表示

③QRコード/バーコード読み取り

④QRコード報告書自動展開

1-5. マスタ機能

1-6. 値比較機能

1-7. 基本入力を利用した機能

1-8. データ操作機能

1-9. その他機能

1-10. 補助機能

1-4. 値自動取得機能 ①GPS/現在日時取得

HITACHI

GPS：位置情報サービスを利用しボタンを押下することで現在地の座標を取得します
現在日時取得：現在の日時をボタンを押下することで取得します

【GPS】

位置情報取得

35.6111111, 139.749261

※座標は「緯度, 経度」を示しています

【現在日時取得】

現在日時

2021/01/01 12:00

[補足]

- ・初期状態のボタンの名称は[GPS：位置情報取得][現在日時取得：現在日時]です
- ・現在日時取得の取得値は日付と時刻です
- ・ブラウザでは位置情報を取得できません(値を取得するためのボタンが非表示になります)
- ・各ボタンを押下することで現在の位置情報と現在日時を取得します
- ・取得値はキーボード入力で編集可能です(最初から入力欄に直接キーボードで入力することも可能です)

※位置情報は端末の位置情報サービスがオフの場合使用できません

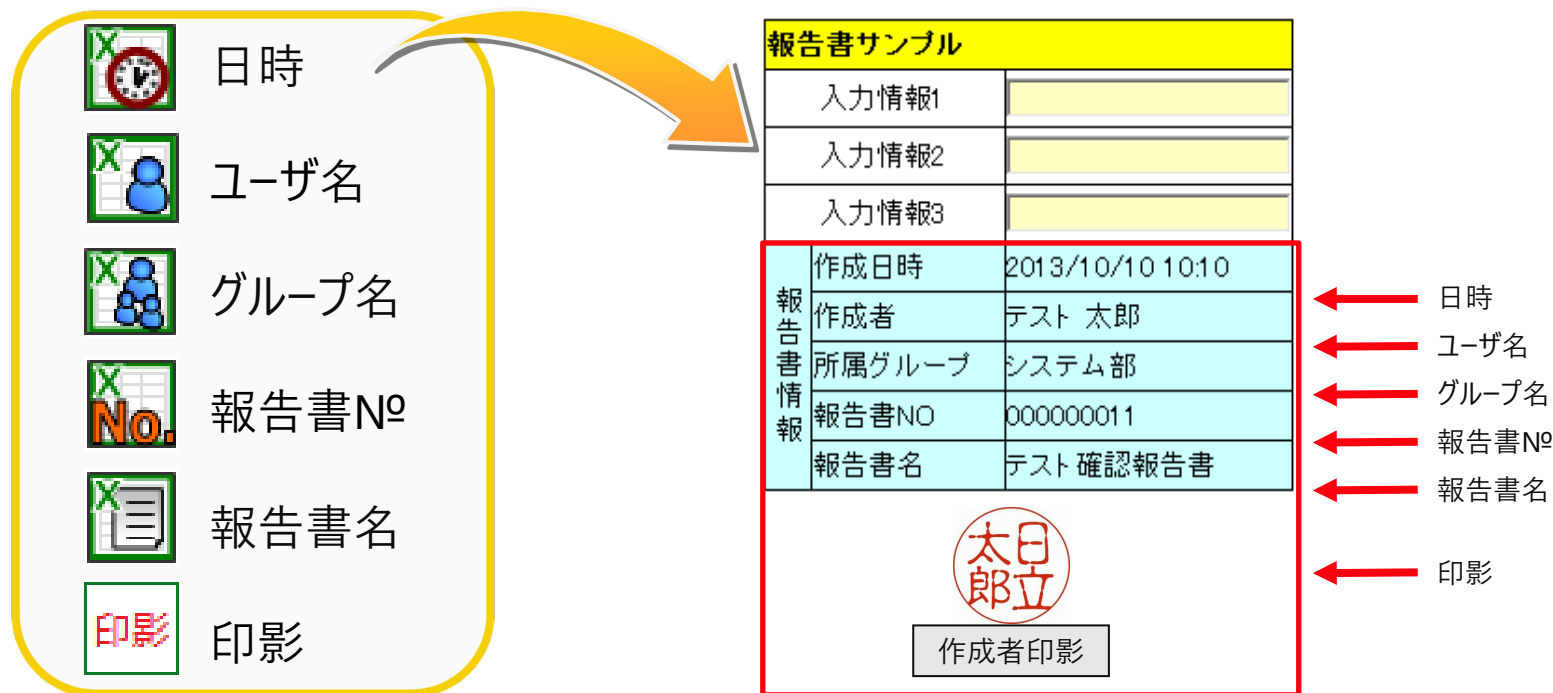
[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
- ・ボタンの位置と取得値の表示箇所を自由に設定可能です
- ・GPSは取得値の編集可否(編集可, 編集不可)を設定可能です
- ・現在日時取得は取得値の出力フォーマット(日時, 日付のみ, 時刻のみ)を設定可能です

1-4. 値自動取得機能 ②報告書情報表示

HITACHI

報告書を作成した際の情報を自動入力します



[補足]

・報告書をサーバへ登録後、「日時」「ユーザ名」「グループ名」「報告書No」「報告書名」「印影画像」が自動的に入力されます

[設定可能範囲]

・各項目(日時,ユーザ名,グループ名,報告書No,報告書名,印影)を別々に設定可能です
・日時,ユーザ名,グループ名,印影：データ種別(作成者,承認者)を設定できます
例:日時) 作成者 ⇒ 作成日時 承認者 ⇒ 承認日時

1-4. 値自動取得機能 ③QRコード/バーコード読み取り

HITACHI

QRコードまたはバーコードの内容を入力欄に自動反映します



[補足]

- ・初期状態のボタンの名称は[QRコード/バーコード読み取り]です
- ・読み取り,ライト切替ボタンはありません
- ・読み取り方法は自動（カメラでQRコード/バーコードを感知すると自動で読み込む設定）です
- ・カメラ画面は端末の全画モードは単体読み取りが設定されており、読み取れる値は1つです
- ・読み取り音面に表示されます
- ・取得値はキーボード入力で編集可能です(最初から入力欄に直接キーボードで入力することも可能です)

[設定可能範囲]

- ・読み取りモード(単体読み取り,連続読み取り)を設定可能です
※最大10個の連続読み取りが可能です
- ・ボタンの名称を変更可能です
- ・ボタンの位置と取得値の表示箇所を自由に設定可能です
- ・読み取り音の有無を設定可能です
- ・ライト切替ボタンの表示有無を設定可能です
- ・読み取り方法(自動,手動)を設定可能です
- ・取得値の編集可否(編集可,編集不可)を設定可能です

[読み取り可能なバーコード種類]

- ・Code39
- ・Code128
- ・EAN18
- ・EAN13

1-4. 値自動取得機能 ④QRコード報告書自動展開

HITACHI

1つのQRコードから複数の入力値を読み取り複数の入力欄に値を展開できます

QRコード報告書自動展開

製品情報	
製品番号	
製品名	
使用期限	☐ 半年 ☐ 1年

QRコード

製品情報	
製品番号	48932
製品名	製品B
使用期限	☐ 半年 ☒ 1年

[補足]

- ・初期状態のボタンの名称は[QRコード/バーコード読み取り]です
- ・読み取り音,ライト切替ボタンはありません
- ・読み取り方法は自動（QRコードを感知すると自動で読み込む設定）です
- ・カメラ画面は端末の全画面に表示されます

[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
 - ・読み取り音の有無を設定可能です
 - ・ライト切替ボタンの表示有無を設定可能です
 - ・読み取り方法(自動,手動)を設定可能です
- ※マスタ検索と併用して利用することも可能です

[注意事項]

- ・読み取りに使用するQRコードは決められたコード体系に従って作成する必要があります
- ・QRコードのみ利用可能なためバーコードは読み取れません

[展開先として使用可能な部品]

- ・文字入力部品
 - ・選択入力部品
 - ・単一選択部品
 - ・複数選択部品
 - ・ラベル
 - ・(マスタ検索部品)
- ※他の部品でも展開可能ですが動作の保証はありません

1-1. 基本入力機能

1-2. カメラ機能

1-3. 手書き入力機能

1-4. 値自動取得機能

1-5. マスタ機能

①報告書データマスタ

②報告書データマスタの反映先指定

③選択入力候補マスタ(プルダウンマスタ)

1-6. 値比較機能

1-7. 基本入力を利用した機能

1-8. データ操作機能

1-9. その他機能

1-10. 補助機能

1-5. マスタ機能 ① 報告書データマスタ

HITACHI

マスタの絞り込み検索結果を報告書画面に自動反映します

検索項目設定画面

マスタ検索

検索結果画面

通信必須機能

マスタ検索

店舗名	
店舗コード	
エリア	東京
住所	

検索 キャンセル リセット

エリア:東京
を入力して検索

マスタ検索

店舗名	店舗コード	エリア	住所
三鷹店	T-108	東京	東京都三鷹市X-Y-Z
八王子店	T-110	東京	東京都八王子市X-Y-Z
吉祥寺店	T-106	東京	東京都武蔵野市吉祥寺本町X-Y-Z
国分寺店	T-114	東京	東京都国分寺市X-Y-Z
大井町店	T-103	東京	東京都品川区大井町X-Y-Z
大森店	T-104	東京	東京都大田区大森北X-Y-Z
府中店	T-112	東京	東京都府中市X-Y-Z
木場店	T-105	東京	東京都江東区木場X-Y-Z
池袋店	T-102	東京	東京都豊島区南池袋X-Y-Z
渋谷店	T-101	東京	東京都渋谷区宇田川町X-Y-Z
町田店	T-107	東京	東京都町田市X-Y-Z
福生店	T-111	東京	東京都福生市X-Y-Z

キャンセル

検索結果反映画面例

実施店舗名	マスタ検索 三鷹店	店舗コード	T-108
エリア	東京	住所	東京都三鷹市X-Y-Z
電話番号	03-1234-0008	責任者	日立 花子
営業時間	7時~24時	面積	30坪
出店場所	郊外	契約形態	賃貸借契約
駐車台数	10		

検索結果画面で選択された値が
報告書に反映されます

※検索結果反映画面例で反映された項目は全11項目です
(店舗名,店舗コード,エリア,住所,
電話番号,責任者,営業時間,面積,出店場所,契約形態,駐車台数)

※検索項目は店舗名,店舗コード,エリア,住所ですが
報告書に反映可能な値はマスタに登録されている値全てです

[補足]

- ・サーバでマスタを登録する必要があります
 - ・検索項目を1つ以上設定する必要があります
- 検索項目例) 店舗名,店舗コード,エリア,住所など

[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
- ・検索項目は10項目まで設定可能です

1-5.マスタ機能 ②報告書データマスタの反映先指定

HITACHI

各マスタ検索ボタン毎にマスタ値の反映先を指定することができます
(反映グループ指定機能)

通信必須機能

報告書フォーマット

マスタ(CSV)

No	記入日時	マスタ	事前在庫
1		マスタ	マウス
2		マスタ	
3		マスタ	
4		マスタ	
5		マスタ	

項目名：事前在庫 1

反映グループ：1

事前在庫	仕入先	搬入先
マウス	株式会社A社	営業部
PC	株式会社A社	設計部
キーボード	株式会社A社	人事部

No	記入日時	マスタ	事前在庫
1		マスタ	
2		マスタ	PC
3		マスタ	
4		マスタ	
5		マスタ	

項目名：事前在庫 2

反映グループ：2

[補足]

- ・反映先指定の設定方法は、「快作レポート+ノウハウ集」内の
(2-1 8-2 複数回のマスタ検索によって、同じ項目データを異なるセルに入力するには)を参照ください。

1-5.マスタ機能 ③選択入力候補マスタ(プルダウンマスタ)

プルダウンマスタをプルダウン表示することができます
マスタで選択入力候補を作成することでフォーマットの再作成等が不要になります

通信必須機能

報告入力画面

マスタ(CSV)

店舗

階層選択

関東エリア >> 東京都 >> 品川区

>> 大井町店

大井町店

※項目を選択して下さい。

リセット キャンセル

エリア	都道府県	地域	店舗
関東エリア	東京都	品川区	大井町店
関東エリア	東京都	大田区	蒲田店
関東エリア	神奈川県	横浜市	横浜市

最終階層のみを
一つのセルに反映

or

第1階層から最終階層までの値を
複数のセルに反映

[補足]
選択入力部品(プルダウン)の選択肢を
マスタから取得することができる機能です。
最大4階層の絞込選択が可能です。

- 1-1. 基本入力機能
- 1-2. カメラ機能
- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能**
 - ① 前回値取得
 - ② 閾値と閾値比較
- 1-7. 基本入力を利用した機能
- 1-8. データ操作機能
- 1-9. その他機能
- 1-10. 補助機能

1-6. 値比較機能 ①前回値取得

HITACHI

既存の報告書から前回入力した値を取得し、現在の報告書に前回値として表示します

前回値取得前

前回値取得

件数(件)	
前回値	今回値

前回値一覧			
作成日時	報告書No	グループ	作成者
2021/04/02 17:24:49	000000005	サンプルユーザ	サンプルユーザ001
2021/04/02 17:23:23	000000004	サンプルユーザ	サンプルユーザ001
2021/04/02 17:21:42	000000003	サンプルユーザ	サンプルユーザ001
2021/03/02 16:50:54	000000002	帳票確認	サンプルユーザ001
2021/03/02 16:47:56	000000001	帳票確認	社用K

前回値取得後

件数(件)	
前回値	今回値
20	

※上記の前回値取得使用例では前回値取得で取得した値は1つですが、過去の報告書に登録されている値であれば複数反映可能です

[補足]

- ・初期状態のボタンの名称は[前回値取得]です
- ・前回値取得の対象報告書は閲覧可能な報告書全てです

[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
 - ・検索範囲(全報告書,自分の報告書のみ)を設定可能です
- ※閾値(比較)と併用して利用することも可能です

[前回値として使用可能な部品]

- ・文字入力部品
- ・選択入力部品
- ・単一選択部品
- ・複数選択部品
- ・ラベル

1-6. 値比較機能 ②閾値と閾値比較

警告値または許容値を超過した場合、アラート表示と背景色の変更を行います
閾値：入力値が警告値または許容値の範囲内かを確認します
閾値比較：比較元と比較対象の差が警告値または許容値の範囲内かを確認します

[警告値と許容値]

入力値と閾値(警告値,許容値)を比較し、比較した結果により背景色と報告書の送信可否が変動します

[比較結果]

- ・警告値の値範囲内の場合は背景色が変わりません
 - ・警告値の範囲外で許容値の範囲内の場合は背景色が黄色になり、報告書の送信が可能です
 - ・許容値の範囲外の場合は背景色が赤色になり、報告書の送信ができません
- ※警告値は許容値の範囲内でしか設定できません

【閾値】

閾値と閾値比較の設定
警告値： $-50 \leq \text{入力値} \leq 50$
許容値： $-100 \leq \text{入力値} \leq 100$



10

70

120

【閾値比較】

入力前

件数(件)	
前回値	今回値
20	

警告値超過

件数(件)	
前回値	今回値
20	80

許容値超過

件数(件)	
前回値	今回値
20	130

[設定可能範囲]

- ・警告値の上限下限と許容値の上限下限のいずれかだけを設定することも可能です
- ・上限下限の比較設定を数値または割合で設定可能です
- ・閾値比較：比較元をセル指定か前回値取得した値かを選択できます

- 1-1. 基本入力機能
- 1-2. カメラ機能
- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能
- 1-7. 基本入力を利用した機能
 - ①例外入力機能
 - ②選択肢絞込機能
 - ③条件付き必須機能
- 1-8. データ操作機能
- 1-9. その他機能
- 1-10. 補助機能

1-7. 基本入力を利用した機能 ①例外入力機能

例外値が入力された場合に例外入力欄を入力可能にします

選択肢：責任者
現場監督
作業員
その他

例外値：その他

例外値：その他以外が入力されている場合 例外値入力無効

入力部品		例外入力用項目（文字入力部品）
選択入力	責任者	

※例外値が無効の場合、例外入力用項目は非活性状態(選択不可)となり入力できません

例外値：その他が入力されている場合 例外値入力有効

入力部品		例外入力用項目（文字入力部品）
選択入力	その他	研修員

※例外値が有効の場合、例外入力用項目は活性状態(選択可能)となり入力できます

[補足]

- ・例外値以外の値が入力された場合は例外入力欄は非活性のため入力不可です
- ・例外値が入力された場合のみ入力可能となり、入力必須になります

[設定可能範囲]

- ・例外値を設定可能です（例外値は複数設定することはできません）
 - ・例外入力欄を1つだけ設定可能です（1つの例外値に対して1つだけ設定可能です）
- ※例外入力欄に使用できる部品は文字入力部品のみです

[例外入力機能]

- ・例外値を設定できる部品：選択入力部品,複数選択部品,単一選択部品

1-7. 基本入力を利用した機能 ②選択肢絞込機能

絞込元で選択された値に伴い絞込先の選択肢を絞り込む機能です

The diagram shows two states of a form. On the left, the '出身地' (Origin) dropdown is set to '北海道' (Hokkaido), and the '都道府県 (絞込先)' (Prefecture (Destination)) dropdown shows a list of all Japanese prefectures. A red box highlights '関東' (Kanto) in the list. A yellow arrow points to the right state. On the right, the '出身地' dropdown is set to '関東' (Kanto), and the '都道府県 (絞込先)' dropdown now only shows prefectures within Kanto: '茨城県' (Ibaraki Prefecture), '栃木県' (Tochigi Prefecture), '群馬県' (Gunma Prefecture), '埼玉県' (Saitama Prefecture), '東京都' (Tokyo), '千葉県' (Chiba Prefecture), and '神奈川県' (Kanagawa Prefecture). A red box highlights the '茨城県' option, which has a blue checkmark next to it.

出身地	
地方 (絞込元)	都道府県 (絞込先)
北海道	北海道

北海道 ✓
関東
東北

出身地

地方 (絞込元)	都道府県 (絞込先)
関東	茨城県

茨城県 ✓
栃木県
群馬県
埼玉県
東京都
千葉県
神奈川県

絞込元を北海道から関東に変更した場合
絞込先の選択肢は関東の都道府県の表示に切り替わります

※絞込元を関東から東北にした場合
絞込先は東北の都道府県に表示が切り替わります

[補足]

- ・絞込元を変更した場合、絞込先を既に選択していても初期化されます

[設定可能範囲]

- ・絞込元と絞込先の位置を自由に設定可能です

[注意事項]

- ・条件による選択肢絞込機能は選択入力部品のみ使用可能です

1-7. 基本入力を利用した機能 ③条件付き必須機能

HITACHI

入力された値に応じて、特定の部品を入力必須にする機能です
※ある値が入力された場合、他の入力欄を必ず入力して欲しい際に利用できます

選択肢：良好
問題なし
問題あり

必須条件：問題あり
※入力必須を有効にする値

選択値：良好の場合 （条件付き必須機能無効）

	入力部品	条件付き必須対象
選択入力	良好	
複数選択	☒ 良好 ☐ 問題なし ☐ 問題あり	
単一選択	☒ 良好 ☐ 問題なし ☐ 問題あり	

送信OK

選択値：問題ありの場合 （条件付き必須機能有効）

	入力部品	条件付き必須対象
選択入力	問題あり	
複数選択	☐ 良好 ☐ 問題なし ☒ 問題あり	
単一選択	☐ 良好 ☐ 問題なし ☒ 問題あり	

送信NG

[補足]

- ・条件付き必須機能で入力必須になった入力欄が空欄状態では報告書を登録できません
- ・条件付き必須機能の必須条件に該当する値でない場合、必須対象項目の入力は任意です

[設定可能範囲]

- ・必須条件値は複数設定することが可能です
- ・条件付き必須対象となる入力欄は10個まで設定することが可能です

[必須条件設定可能部品]

- ・文字入力部品
- ・選択入力部品
- ・単一選択部品
- ・複数選択部品

- 1-1. 基本入力機能
- 1-2. カメラ機能
- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能
- 1-7. 基本入力を利用した機能
- 1-8. データ操作機能**
 - ①送信済み報告書検索**
 - ②一時保存データ管理**

- 1-9. その他機能
- 1-10. 補助機能

1-8. データ操作機能 ①送信済み報告書検索

報告書作成画面から同じフォーマットの報告書を検索、閲覧できます



[補足]

- ・検索する報告書の対象は作成者問わず登録されている全報告書です
- ・サーバに接続するためオンライン時のみ使用可能です

[設定可能範囲]

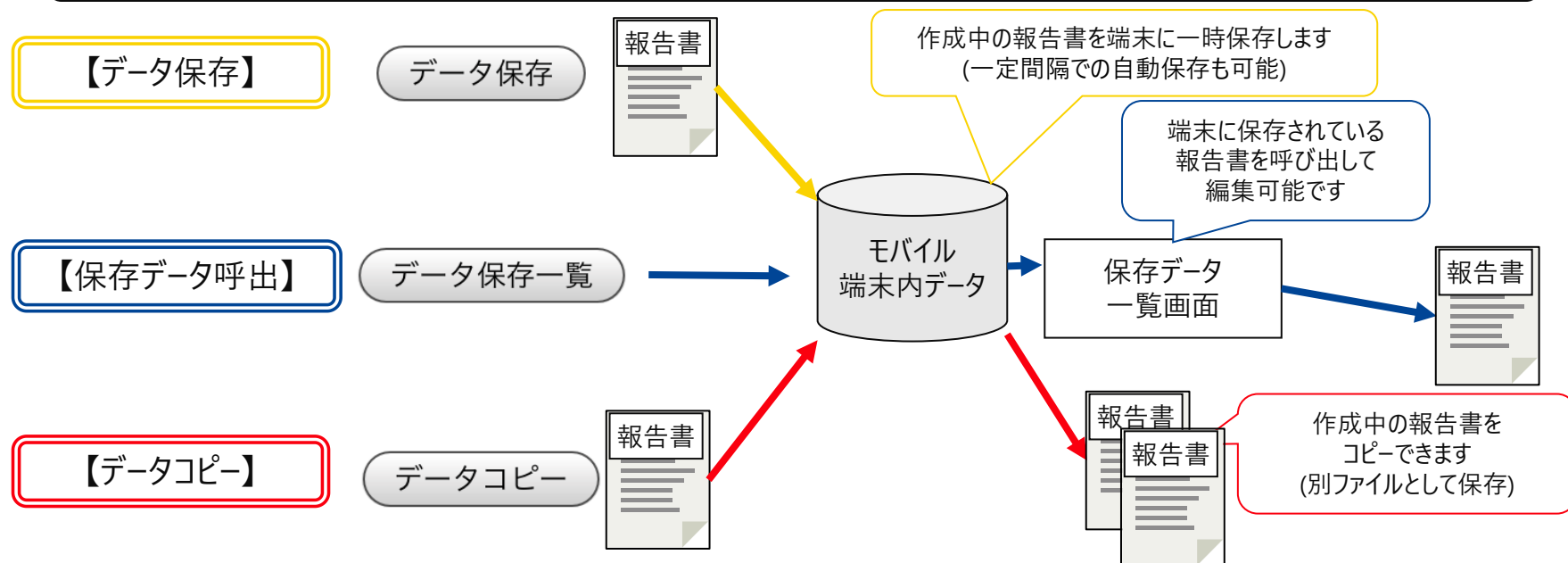
- ・検索する報告書の対象(全報告書,自分の作成した報告書のみ)を設定可能です

[注意事項]

- ・検索項目を利用して絞込検索を行う場合は
報告書フォーマットに検索対象項目Noを設定する必要があります（検索項目は4項目まで設定可能です）

1-8. データ操作機能 ②データ保存・コピー機能

モバイル端末へ作成中の報告書を一時保存することが可能です



[補足]

- ・モバイル端末に一時保存するためオフラインで使用可能です
 - ・データ保存：作成中の報告書をモバイル端末に新規保存します(2回目以降は上書き保存)
 - ・データコピー：作成中の報告書をモバイル端末にコピーして保存します
 - ・データ保存一覧：データ保存またはデータコピーで保存された報告書の呼び出しが可能です
- ※サーバに報告書を送信後、データ保存一覧に登録されていた報告書は削除されます

[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
- ・データ保存：自動保存間隔(分単位)を設定可能です (設定された間隔で作成中の報告書が自動で保存されます)

1-1. 基本入力機能

1-2. カメラ機能

1-3. 手書き入力機能

1-4. 値自動取得機能

1-5. マスタ機能

1-6. 値比較機能

1-7. 基本入力を利用した機能

1-8. データ操作機能

1-9. その他機能

①Excel関数

②文書参照

③印刷

1-10. 補助機能

1-9. その他機能 ①Excel関数

四則演算と29のExcel関数をサポートしています

Excel関数（全29関数）

1	SUM	11	ABS	21	IFERROR
2	AVERAGE	12	AREAS	22	LEFT
3	MAX	13	ASC	23	LEN
4	MIN	14	AVERAGEA	24	LOOKUP
5	COUNT	15	AVERAGEIF	25	MAXA
6	ROUND	16	CONCATENATE	26	MEDIAN
7	ROUNDUP	17	COUNTA	27	MID
8	ROUNDDOWN	18	COUNTBLANK	28	MINA
9	VLOOKUP	19	COUNTIF	29	RIGHT
10	SUMIF	20	IF		

[注意事項]

- ・BOOL値の “TRUE”, “FALSE”は文字列として扱われます
- ・関数内で使用される記号などは文字列として使用できません（条件演算子や四則計算記号など）

1-9. その他機能 ②文書参照

ローカル文書参照：PDF・JPEG形式のファイルをオフライン環境で参照可能です
オンライン文書参照：オンラインWebページを参照できます

【ローカル文書参照】

ローカル文書



【オンライン文書参照】

通信必須機能

オンライン文書



[補足]

- ・ローカル文書参照：PDFまたはJPEGファイルをオフライン環境で参照可能です
- ・オンライン文書参照：オンラインページ（URL指定）を参照するためオンライン時のみ使用可能です

[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
- ・ローカル文書参照：参照するPDF・JPEG形式ファイル
- ・オンライン文書参照：参照するURL

1-9. その他機能 ③印刷

報告書の印刷用ページを画面表示します

印刷ページ選択

印刷用ページ表示

印刷ページ選択

ページ1

表示 キャンセル

印刷ページ選択

ページ1

ページ1
ページ2
ページ3

印刷用ページ

設備点検チェックシート

日付	2021/03/15	検査員	山田太郎
検査場所	10-51	検査内容	電気設備点検
検査時間	10:30	検査結果	正常

項目	内容	単位	値	単位	値
1	水漏	漏れ	0	漏れ	0
2	ガス	漏れ	0	漏れ	0
3	電気	漏れ	0	漏れ	0
4	その他	漏れ	0	漏れ	0

印刷用ページ

※1ページ固定または改ページが1ページ分しか存在しない場合印刷ページ選択画面は表示されません

[補足]

- ・シートが複数ある場合や報告書の量が多い場合はどのページを印刷するかを選択します（印刷のページ分割はExcelの改ページで設定可能です）
- ・印刷はアプリ内メニューから行い、以下のモバイルプリンタに対応しています。
 1. Brother製モバイルプリンタ（Android版、iOS版で対応）
 2. AirPrint対応機器（iOS版で対応）
 3. Windows対応プリンタ（Windowsで対応）

[設定可能範囲]

- ・ボタンの名称を変更可能です
- ・ページ分割(1ページ固定,Excel改ページ通り)を設定可能です
- ・印刷許可ページを設定可能です（許可したページのみ印刷可能となります）

- 1-1. 基本入力機能
- 1-2. カメラ機能
- 1-3. 手書き入力機能
- 1-4. 値自動取得機能
- 1-5. マスタ機能
- 1-6. 値比較機能
- 1-7. 基本入力を利用した機能
- 1-8. データ操作機能
- 1-9. その他機能

1-10. 補助機能

その他報告書の管理に役立つ部品です

【式結果送信部品】

関数を利用した式結果の値を快作レポート＋サーバDBの保存対象とする部品です
※部品未設定の場合では式結果の値は快作レポート＋サーバDBに保存されません
例)「=SUM(A1:A2)」部品未設定の場合、左記の式結果の値は報告書には表示されますがDBには保存されません

【非表示情報部品】

報告書の画面上は非表示ですが、報告書データとして扱いたい値が存在する場合に使用する部品です
例) 消費税の計算：商品金額(税抜) * 1.1 = 商品金額(税込)
消費税の「1.1」を任意のセルに記入し、税込金額の計算に利用する際、
「1.1」を報告書上非表示とするが、報告書作成時に税率が10%であるとデータとして残したい場合
「1.1」に部品を設定することで上記の動作を行うことができます
※または報告書管理者には必要な情報ですが報告書作成者には不要な情報などに使用できます

【セル値非表示部品】

報告書フォーマット作成時にセルに入力した値(入力値,式結果)を報告書画面では非表示にしたい場合に使用します
※部品を使用した場合、セルに入力された値はDBにも保存されません

第 2 章 サーバ機能

- 2-1.報告書閲覧
- 2-2.報告書検索
- 2-3.ユーザ管理
- 2-4.報告書フォーマット管理
- 2-5.予定管理
- 2-6.報告書フォーマット配信設定
- 2-7.報告書メール送信
- 2-8.承認設定
- 2-9.指示作成機能
- 2-10.写真一覧表示

2-1. 報告書閲覧

サーバに保存されている報告書を閲覧できます

PC画面

検索	作成日時	報告書名	報告書No	店舗名	住所	責任者	検索項目4	指示タイトル	回答	承認	コメント	添付	メモ	グループ	作成者
☐	1 2020/10/27 08:10	01_店舗改善チェックシート_V03	000000015	いすみ店	千葉県いすみ市X-Y-Z	千葉県いすみ市 日立 花子				未承認			メモ入力	編集グループ2018101	デモユーザ01
☐	2 2020/02/05 15:08	01_店舗改善チェックシート_V03	000000007	かすみがうら店	茨城県かすみ市X-Y-Z	日立 二郎				未承認				編集グループ2018101	デモユーザ01
☐	3 2018/08/20 14:28	01_店舗改善チェックシート_V03	000000004	三鷹店	東京都三鷹市X-Y-Z	日立 花子				未承認				システム管理部	デモユーザ01
☐	4 2018/07/02 18:20	01_店舗改善チェックシート_V03	000000003							未承認				システム管理部	デモユーザ01

:報告書の「閲覧」状態を示します。(閲覧後：)

:「メモ」が登録されている状態を示します。(メモ未登録：)

:「指示回答」が必要な報告書に表示します。(指示回答後：)

:「コメント」未読の状態を示します。(既読後：)

※ 「メモ」アイコンのみ押下可能で、メモ入力ダイアログを表示します。

モバイル画面

[補足]

- ・サーバに保存されている閲覧可能な報告書全てが表示されます
- ・報告書を選択して、閲覧、編集、削除、承認が可能です
- ・検索画面を利用して報告書を絞り込むことが可能です
- ・PC画面では報告書をCSV, Excel, PDFでダウンロード可能です

※PDFダウンロード

CLOUD版：簡易PDF変換を行っているためレイアウトが崩れる場合があります

サーバ導入版：PDF変換ツールの購入、PDFサーバの構築が必要です

2-2. 報告書検索

検索項目を入力し報告書を絞り込み検索できます

PC画面

モバイル画面

[補足]

- ・検索項目は10項目設定が可能です
その他、「作成日」「作成者」「報告書バージョン」「報告書No」「閲覧ステータス」等で検索が可能です
 - ・1つの検索項目内で選択入力とテキスト入力の併用が可能です(選択入力時は別途選択候補マスタが必要)
 - ・モバイル画面でもPCと同様に検索可能です
 - ・お気に入り登録が可能で検索項目を記憶し再度呼び出すことができます
- ※お気に入り検索はPC画面専用の機能です

2-2. 報告書検索 (報告書入力データの検索)

任意に設定した検索項目を入力し報告書を絞り込み検索できます

モバイル画面

設備点検チェックシート

日付		報告書No	
開始時刻		報告書名	
終了時刻			

契約情報		マスタ検索	QRコード自動入力
管理番号	(検索対象項目No.1)	契約者	(検索対象項目No.2)
最終点検日	(検索対象項目No.3)	住所	(検索対象項目No.4)

検索対象項目No.の1～4をそれぞれ設定することで
PC Web画面上では右記のように表示されます

PC Web画面

グループ 選択 クリア

検索項目

管理番号	(検索対象項目No.1)
契約者	(検索対象項目No.2)
最終点検日	(検索対象項目No.3)
住所	(検索対象項目No.4)

選択

補足

コンテンツビルダー

<< 属性表示切替 >>	
属性	値
入力スタイル	指定なし
数字スライダー入力	指定なし
閾値	指定なし
入力必須	指定なし
項目名	管理番号
検索対象項目No	1
入力可能行数	指定なし
入力可能文字数	2
入力幅	3
部品設定を元に戻す	4
部品属性説明	5
検索対象項目を選択	6
入力データを検索	7

[補足]

- ・コンテンツビルダーにて項目名と検索対象項目No.が設定できます(10個まで設定が可能です)
- ・報告書フォーマットを絞ることで検索項目で検索が可能になります

2-2. 報告書検索 (階層絞込選択)

検索項目を利用して階層的に報告書を絞り込むことができます

PC画面

検索項目

エリア
選択 関東エリア

都道府県
選択 東京都

地域
選択 品川区

店舗名
選択 大井町店

「都道府県」
「地域」
「店舗名」
も階層選択が可能

階層選択

関東エリア

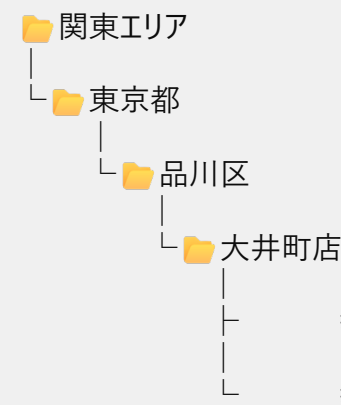
※項目を選択して下さい。
※対象項目に選択値を反映します。
「表示」と「値」をそれぞれもつ選択値

第1階層から選択

関東エリア
関東エリア
関西エリア
中部エリア
九州エリア

■フォルダ階層のようなイメージ

関東エリア > 東京都 > 品川区 > 大井町店



[補足]

- ・プルダウンで検索項目に入力可能。手入力とプルダウンのどちらでも入力できます。
- ※プルダウン入力は選択候補に選択候補マスタを利用している場合に限りです

ユーザの管理(追加,削除,編集)が行えます

PC画面：ユーザ管理画面

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) screen. A red box highlights the user hierarchy tree. Callouts point to specific levels:

- グループ：第1階層** (Group: 1st Level) points to 'システム管理部' (System Management Dept).
- グループ：第2階層** (Group: 2nd Level) points to '第2システム管理部' (2nd System Management Dept).
- ユーザ：一般ユーザ 第2階層の第3グループ所属** (User: General User, 2nd Level, 3rd Group) points to a user under '第3グループ' (3rd Group).

The tree structure is as follows:

- ルート (Root)
 - システム管理者 (System Administrator)
 - システム管理部 (System Management Dept)
 - 第2システム管理部 (2nd System Management Dept)
 - 第1グループ (1st Group)
 - 〇〇課長 (00 Manager) - Super User (S)
 - △△主任 (△△ Chief) - Group User (G)
 - ▲▲主任 (▲▲ Chief) - Group User (G)
 - ×× (User) - General User (U)
 - (User) - General User (U)
 - (User) - General User (U)
 - (User) - General User (U)
 - 第2グループ (2nd Group)
 - 第3グループ (3rd Group)
 - 〇〇本店 (00 Main Store)
 - 支店 (Branch)
 - サンプルユーザ (Sample User)

グループ：ユーザが所属するグループを追加することができます
※グループの下にグループを作成可能で10階層まで作成できます

ユーザ：グループの下に追加可能で各ユーザに閲覧範囲があります
※ログイン時のユーザIDと閲覧時のユーザ名は別に登録可能です
(例：ID「user01」 名「〇〇課長」)

ユーザの閲覧範囲

S スーパーユーザ：全ユーザの報告書を閲覧可能です

G グループユーザ：グループ内ユーザの報告書を閲覧可能です

U 一般ユーザ：自身の報告書のみ閲覧可能です

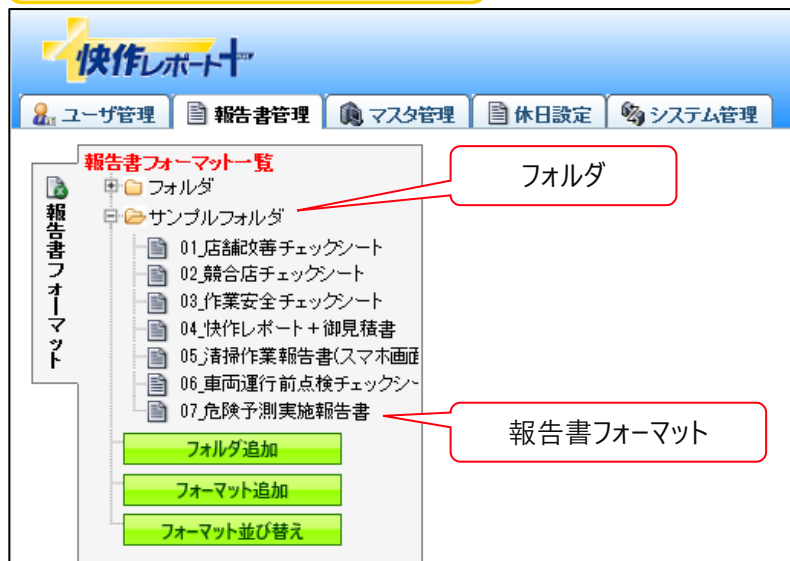
[ユーザ作成時設定項目]

- ・ユーザID：ログイン時に使用するIDです
- ・ユーザパスワード：モバイル用とPC用のパスワードがあります
- ・ユーザ名：ユーザの名前
- ・所属グループ：ユーザの所属グループを指定できます
- ・閲覧範囲：ユーザの閲覧範囲を設定できます
- ・権限範囲：報告書編集、削除などの権限を付与できます
- ・アカウント状態：アカウントの有効・無効を変更可能です

2-4. 報告書フォーマット管理

報告書のフォーマットを管理できます

PC画面：報告書管理画面



報告書フォーマット：
コンテンツビルダーで作成されたzipファイルです

フォルダ：報告書フォーマットを分類するために使用します
※フォルダ内にフォルダを追加可能です（10階層まで）

[報告書フォーマット操作]

追加：報告書フォーマット一覧の下にあるフォーマット追加から追加することが可能です

編集：報告書フォーマット一覧から編集対象を選択して編集することが可能です

削除：報告書フォーマットの編集画面から削除できます

[報告書フォーマット設定可能範囲]

- ・報告書フォーマットを更新時、コンテンツビルダーで作成したzipファイルを上書き更新または新規保存できます（新規保存の場合、報告書フォーマットを版管理して、旧フォーマットで登録した報告書でも編集可能にします）
 - ・報告書フォーマット配信共有設定を設定可能です（フォーマットを配信するユーザ、グループを設定できます）
- ※初期状態では全ユーザに配信状態となります
- ・主管グループを設定できます（報告書フォーマットを管理するグループを指定できます）

2-5. 予定管理

HITACHI

指示書作成、指示書の状況確認、報告書の期日超過通知ができます

予定管理画面

※モバイル画面の場合、予定追加のボタンはありません

追加ボタンから
指示書を作成

指示書を作成することで作成予定の報告書に
値を事前に入力した状態で報告書を作成することが可能です

指示書選択・登録状況確認画面

予定を選択することで、その日に作成すべき報告書を一覧で確認でき、予定に登録されている報告書を選択可能です
※予定を追加されていないユーザでも、報告書閲覧範囲に基づいて、予定の確認が可能です

指示書作成例

指示書作成前

日時	
作成者	
エリア	
店舗名	
入力項目1	
入力項目2	

指示書作成後

日時	2021/4/2
作成者	日立太郎
エリア	東京都
店舗名	品川店
入力項目1	
入力項目2	

[補足]

- ・予定追加はPC画面のみ利用可能です
- ・対象を選択することで予定表の表示を自分の予定、他のグループの予定、全体の予定に変更可能です
- ・予定追加は現在日以降の日付のみ選択可能です
- ※前日より前の予定は追加できませんが既に追加されている過去の予定を編集することは可能です

2-6. 報告書フォーマット配信設定

ユーザごとに報告書フォーマットの配信有無を設定できます

PC画面：報告書フォーマット配信設定画面

① 報告書フォーマット 配信・参照・閲覧・許可設定

☒ 全てのグループにて報告書フォーマット配信・参照を許可する ☐ 報告書フォーマット配信・参照でチェックしたグループ間で報告書を共有する

グループID	グループ/ユーザ	配信・参照	他グループ報告書参照
1	システム管理部	☒	☐
2	第2システム管理部	☒	☐
3	第1グループ	☒	☐
4	第2グループ	☒	☐
15	第3グループ	☒	☐
	〇〇課長	☒ 配信する	☐ 全ての報告書を許可
	△△主任	☒ 配信する	☐ 許可する
	▲▲主任	☒ 配信する	☐ 許可する
	××	☒ 配信する	☐ 許可しない
	●●	☒ 配信する	☐ 許可しない
	□□	☒ 配信する	☐ 許可しない

設定 閉じる

配信設定：ユーザに対して報告書フォーマットの配信と参照の有無を設定できます

※許可がない場合は配信と参照を行えません

- ・配信設定はフォーマット登録/編集時、ユーザ単位、グループ単位で行えます
例) 部署ごとの配信 ⇒ グループ単位
課長に対して配信 ⇒ ユーザ単位
- ・配信を無しにすると、無しにしたユーザでは当該報告書フォーマットが表示されません

[配信設定]

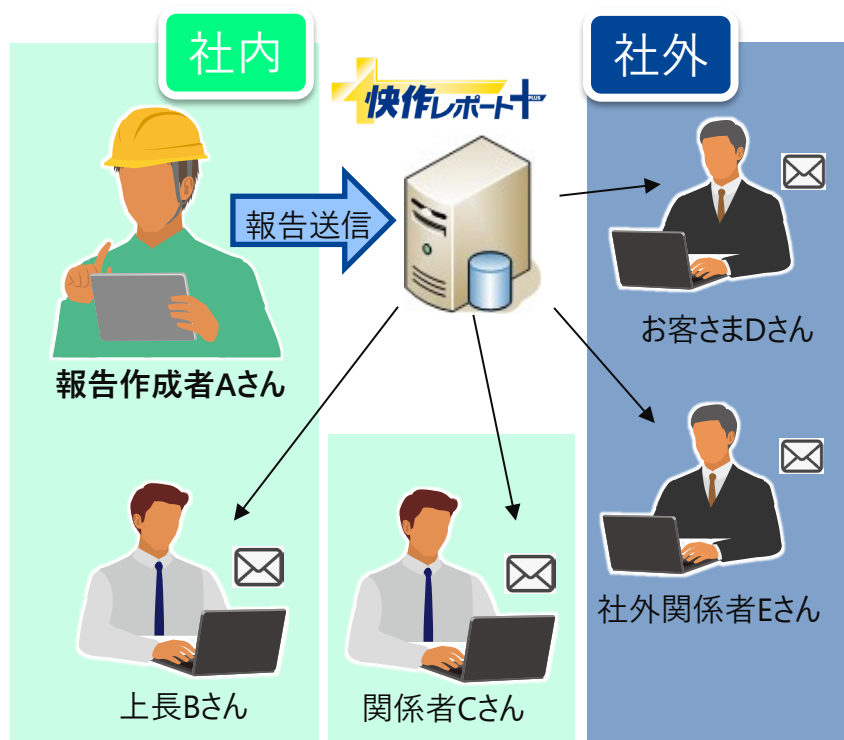
・ユーザまたはグループに対する配信と参照の有無以外に他グループ報告書参照についても設定可能です

※他グループ参照のみ許可の場合、報告書フォーマットを配信と参照はできませんが、他のユーザが登録した報告書を閲覧することは可能となります

報告書メール送信機能

社内だけでなく、社外の関係者にもメールで報告書を送信

- ・検索項目とメール送付先マスタを事前に設定することで、
検索項目に入力した値を抽出条件にして送付先メールアドレスをデフォルト設定。
- ・メールには報告書(ExcelまたはPDF)を添付可能。
- ・送信するメールのタイトル、本文を自由に設定可能。



HITACHI

快作レポート+アプリ(タブレット)>報告書詳細画面>メール送付先設定画面

[illegible]

検索項目に入力した値を条件にしてメール送付先マスタからアドレスを抽出し、デフォルトで設定
※検索項目指定がない場合は、マスタに登録されているメールアドレスを全て設定

メール送付先マスタにないアドレスを手入力することも可能。To/Cc/Bcc設定可能

2-7. 報告書メール送信(3/4)

HITACHI

メール送信設定について 各フォーマットごとに設定が必要です

システム管理者PC画面>報告書管理>報告書フォーマット

高度な設定

⋮

▲ 報告書詳細画面のメール送信設定	
メール送信設定 *	☒ 有効 ☐ 無効
メール送付先マスタID *	mailaddmail
添付ファイル *	☐ なし ☐ Excel ☒ PDF
メールタイトル *	[快作レポート+] 報告書を送付します
メール本文 *	【報告書フォーマット】%REPORT_FORMAT% 【グループ】%REPORT_GROUP% 【報告者】%REPORT_USER_ID% %REPORT_USER% 【報告書作成時刻】%REPORT_CREATE_DATE% 【報告書No】%REPORT_ID%

メール送信設定を“有効”にする
※“無効”にすると、メール送信機能を使用できません

設定したいメール送付先マスタ(csv)のマスタIDを入力

添付する報告書のファイル形式を選択

送信するメールのタイトルおよび本文を編集

2-7. 報告書メール送信(4/4)

検索項目とメール送付先マスタの事前設定について

帳票の検索項目に入力した値を条件に、メール送付先マスタ(csv) からアドレスの絞り込みが可能

メール送付先マスタ サンプル

管理番号	契約者	最終点検日	住所	閲覧範囲	組織1	組織2	送付先名1	属性1	メールアドレス1
T-101	日立 太郎	2021/3/9	東京都渋谷区宇田川町X-Y-Z		日立ソリューションズ・クリエイト		日立 太郎	To	tarou@hitachi-solutions.com
T-102	日立 花子	2021/3/13	東京都豊島区南池袋X-Y-Z		日立ソリューションズ・クリエイト		日立 二郎	To	jirou@hitachi-solutions.com
T-103	日立 二郎	2021/3/14	東京都品川区大井X-Y-Z		日立ソリューションズ・クリエイト		日立 三郎	To	saburou@hitachi-solutions.com
T-104	日立 太郎	2021/3/15	東京都江東区木場X-Y-Z		日立ソリューションズ・クリエイト		日立 四郎	To	sirou@hitachi-solutions.com
T-105	日立 次郎	2021/3/16	東京都武蔵野市吉祥寺本町X-Y-Z		日立ソリューションズ・クリエイト		日立 五郎	To	gorou@hitachi-solutions.com

帳票の検索項目に入力した値

契約情報		マスタ検索	自動展開
管理番号	T-101	契約者	日立 太郎
最終点検日	2021/3/9	住所	東京都渋谷区

検索項目の値と一致するメールアドレスだけが設定されます

メール送付先設定画面

メール送付先設定			
管理番号	T-101		
契約者	日立 太郎		
最終点検日	2021/3/9		
住所	東京都渋谷区宇田川町X-Y-Z		
組織1	日立ソリューションズ・クリエイト		
組織2			
送付先名	To/Cc/Bcc	メールアドレス	削除
日立 太郎	To	tar*****@hitachi-solutions.com	削除
			クリア
			クリア

2-8. 承認機能 (1/2)

承認機能の設定方法は以下2種類

1. 次承認者選択モード 報告書送信時または承認時に指定された承認者が、報告書を承認
＜活用シーン＞ 「ワークフローのように次の承認者を指定して書類の申請・承認がしたい」
2. 承認者非選択モード 管理者権限のあるアカウントなら誰でも報告書を承認
＜活用シーン＞ 「承認者を指定するほどでもないが、報告書を確認してから処理したい」

1. 次承認者選択モード



2. 承認者非選択モード



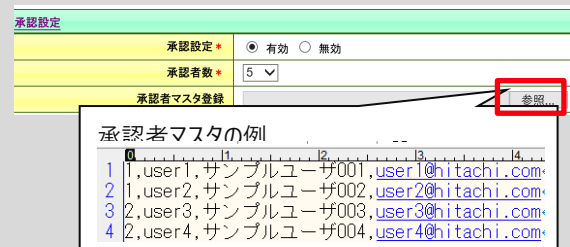
2-8. 承認機能 (2/2)

各モードの事前準備と画面イメージ

1. 承認者選択モード

事前準備

フォーマットの承認設定から承認者マスタ(CSVファイル)を登録



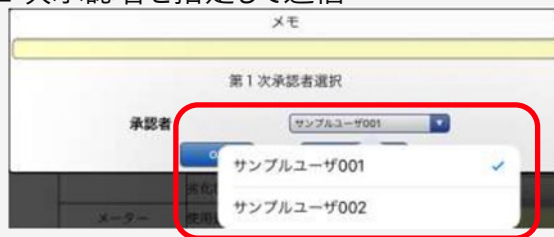
承認設定
承認設定 ☒ 有効 ☐ 無効
承認者数 5
承認者マスタ登録 参照...

承認者マスタの例

承認者
1, user1, サンプルユーザ001, user1@hitachi.com
2, user2, サンプルユーザ002, user2@hitachi.com
3, user3, サンプルユーザ003, user3@hitachi.com
4, user4, サンプルユーザ004, user4@hitachi.com

報告記入・送信

報告書送信時に表示されるプルダウンから第1次承認者を指定して送信



メモ

第1次承認者選択

承認者

サンプルユーザ001

サンプルユーザ002

承認

第1次承認者が第2次承認者を指定して承認



報告書詳細

承認者

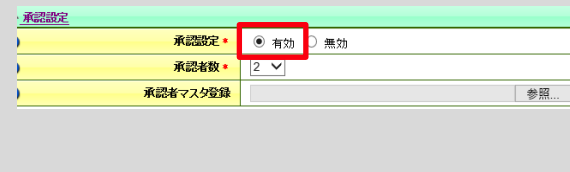
サンプルユーザ004

サンプルユーザ003

2. 承認者非選択モード

事前準備

フォーマットの承認設定から承認設定を「有効」に



承認設定
承認設定 ☒ 有効 ☐ 無効
承認者数 2
承認者マスタ登録 参照...

報告記入・送信

承認者指定プルダウンは表示されません。そのまま報告書を送信



メモ

OK

キャンセル

承認

管理者権限のあるアカウントが承認可能。次の承認者は指定しません。



報告書詳細

承認者

承認者A

承認

[補足]

- 承認者に指定されていない、もしくは承認権限のないユーザの報告書画面には承認ボタンが表示されません
- 承認者数(承認の枠数)は0～10枠まで設定可能。デフォルトは2枠に設定されています。0の場合は承認設定が無効になります

<承認者選択モードについて>

- 第1次承認者は報告書作成者が報告書を送信する際に指定します
- 第2次承認者以降は一つ前の承認者が報告書を承認する際に指定します

2-9. 指示作成機能

HITACHI

作成してほしい報告書フォーマットを報告者へ「指示」として送信できる機能です

<活用シーン>

- ・「現場にいる報告者に対して指示書のように指示を出し、報告をもらいたい」
- ・「電波環境の安定している会社で事前に報告書を作成してから、現場で追記することで入力負荷を軽減したい」

①会社で指示作成

指示内容や報告内容を事前にPCで記入し、指示を作成

指示送信先を指定

報告内容を事前に記入

メール通知
Push通知※

②現場で報告書に追記

自分へ届いている指示を報告書一覧から選択。現場で作業内容を報告書に追記

オフラインでも追記可能

現場で追記

メール通知

③上司が確認・承認

報告書を確認し
コメント記入・承認を行う

コメント記入・承認

報告内容確認

[補足]

- ・Push通知はサーバ導入版のみ使用可能
- ・報告書一覧から「自分への指示」を検索することで自分へ届いている指示を確認可能

2-10.写真一覧表示

HITACHI

報告書に添付した写真を抽出してアルバムのように一覧表示できます

PC画面

The screenshot shows a web application interface for managing reports. On the left, there are search filters for '報告書フォーマット' (Report Format) and 'グループ' (Group). On the right, there are filters for '報告書バージョン' (Report Version), '報告書No' (Report No.), '作成者' (Creator), '作成日' (Creation Date), '閲覧' (View), '指示回答' (Instruction Answer), '指示' (Instruction), 'メモ' (Memo), '承認' (Approval), and '写真タグ名' (Photo Tag Name). At the bottom of the right sidebar, the '写真一覧表示' (Photo List Display) button is highlighted with an orange box. Below the sidebar, there are buttons for 'お気に入り登録' (Favorite Registration), 'お気に入り更新' (Favorite Update), and 'お気に入り名を入力' (Enter Favorite Name).

写真一覧表示

項番 作成日時_報告書No_グループ名_作成者名_検索項目1_検索項目2

2022/03/30 14:54_000000004_第一事業部_日立 太郎_(なし)_(なし)



キッチン コンロ キッチン コンロ キッチン シンク シンク

2022/03/30 14:53_000000003_第一事業部_日立 太郎_(なし)_(なし)



キッチン コンロ キッチン コンロ キッチン シンク キッチン シンク シンク

< 事前設定 >

管理者画面の報告書管理タブから対象報告書を選択し、高度な設定の[写真一覧表示]を「有効」にします

高度な設定

写真一覧表示

写真一覧表示 *

☒ 有効 ☐ 無効

[補足]

写真一覧表示の設定が有効になっている報告書フォーマットを選択すると、「写真一覧表示」ボタンが表示されます

[補足]

添付している写真の1～10枚目を報告書ごとに表示します

2-10.写真一覧表示(写真タグ名)

HITACHI

写真タグ名で絞り込んで写真一覧表示可能です
検索画面で[写真タグ名]を条件に絞り込んで写真一覧表示ができます

PC画面

指示 ☒ 全て ☐ 自分への指示 ☐ 自分から出した指示

メモ

承認 ☒ 承認済 ☒ 承認中 ☒ 未承認 ☒ 差戻 ☐ 自分が次承認

写真タグ名

写真一覧表示

項番 作成日時_報告書No_グループ名_作成者名_検索項目1_検索項目2

2022/03/30 14:54_000000004_第一事業部_日立 太郎_(なし)_(なし)

1  

キッチン シンク シンク

2022/03/30 14:53_000000003_第一事業部_日立 太郎_(なし)_(なし)

2   

キッチン シンク キッチン シンク シンク

[補足]
写真タグ名は部分一致で検索します

<補足>

・報告書フォーマットを選択してから写真一覧表示をしてください。報告書フォーマットごとに一覧表示をします。

・写真一覧表示を有効にすると添付画像とは別にサムネイル画像を生成するため、サムネイル画像分のデータ容量を消費します(1サムネイルにつき3KB程度)

・写真一覧表示は報告書につき10枚まで表示可能です。

第 3 章 外部システム連携機能

3. 外部システム連携機能

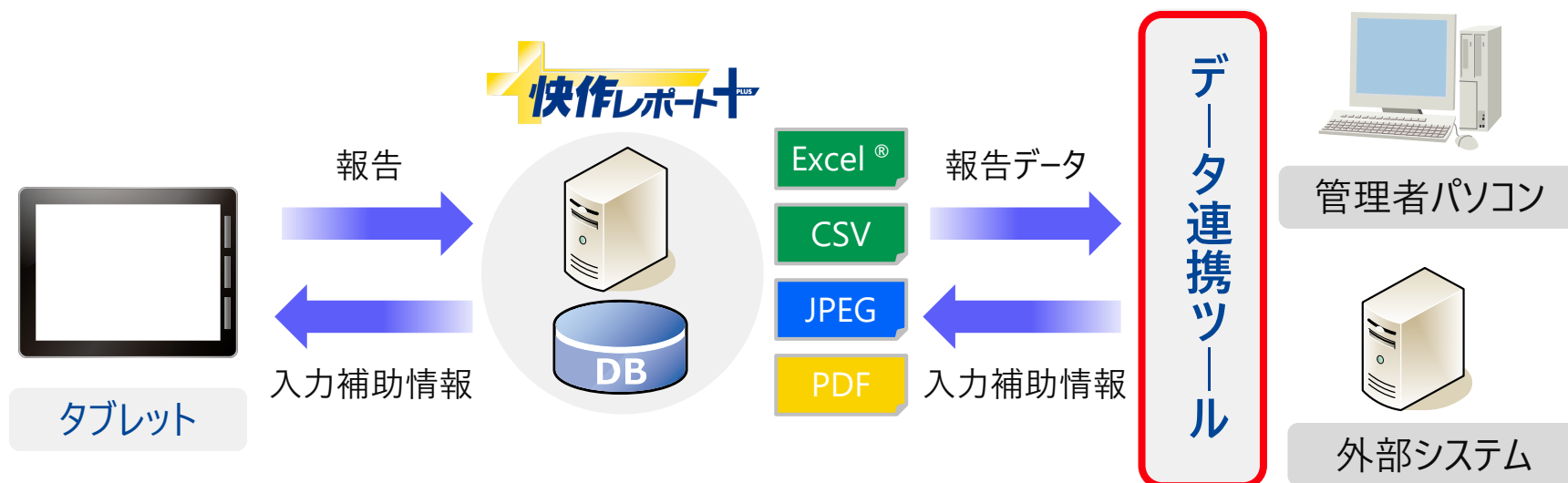
①データ連携ツール

②WebAPI

3-1. 外部システム連携機能 ①データ連携ツール

HITACHI

報告書日次データ(Excel®/PDF/CSV/写真ファイル)を自動で取得可能です
また入力補助情報(マスタ)の更新や報告書CSVデータ一括出力も可能です。



[補足]

- ・ユーザ画面などを介する必要がなく、管理者のパソコンからデータ連携ツールのUI画面にて操作が可能です
- ・UI画面にて管理者のパソコンから操作し報告データの取得や入力補助情報のアップロードが可能です

[設定可能範囲]

- ・batファイルによってコマンド実行が可能です

※batの実行をタスクスケジューラに登録することで、データの取得やアップロードを自動で実行できます

例1) 夜間に前日分の報告書データを一括ダウンロード

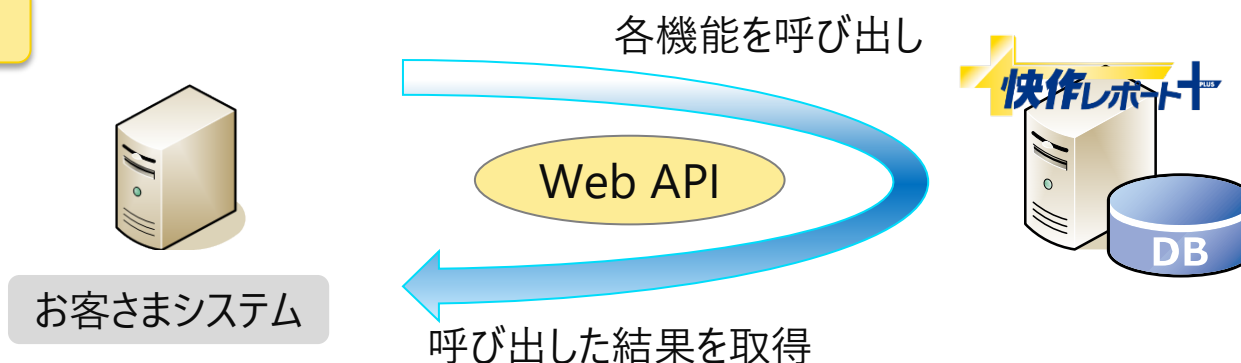
例2) 外部システムで管理しているマスタデータを快作レポート+に自動反映

3-1. 外部システム連携機能 ②Web API

HITACHI

データ連携ツールの機能に加えてリアルタイムでのデータ連携が可能です
※他にも一覧に表示されている様々な機能を利用できます

【Web API】



※ユーザが報告書を登録または承認したタイミングでリアルタイムな外部システムへのデータ連携を実現できます

[Web API]

外部システムとの密な連携を実現するため、快作レポート+には以下のAPIがあります。

- ・報告書フォーマット：一覧取得 / 情報取得
- ・報告書：登録 / 指示作成 / 更新 / 削除 / 一覧取得 / 情報取得 / Excel®・CSV取得
- ・マスタ：登録 / 更新 / 削除 / 一覧取得 / 情報取得
- ・グループ：追加 / 更新 / 削除 / 情報取得 / 一覧取得
- ・ユーザ：追加 / 更新 / 削除 / 情報取得 / 一覧取得
- ・休日情報：追加 / 更新 / 取得
- ・予定：追加 / 更新 / 削除 / 一覧取得 / 予定情報取得